

## 編集後記

横断型基幹科学技術研究団体連合（以下横幹連合）の会誌第1号を、紆余曲折いろいろあったのですが、ようやく皆様にお届けすることが出来、会誌編集委員会一同ほっとしております。会誌発行の話は、約4年ほど前だったと思いますが、横幹連合が特定非営利活動法人になる前の任意団体の頃からありました。縦型の確立された従来からの多数の学問分野を横から見て横幹連合を創るのであるから、この革新的なコンセプトを国内は言うに及ばず世界に向かって普及させるためにも、連合の「顔」として会誌を発行することには重要な意義がある。この主張に異議を唱える人はなく、順調にいくかに思われました。

しかし、では、具体的にどんな内容で、どんな書式体裁で、どの程度の予算規模で... などという話になると、とたんに問題が出てまいります。

内容：横幹という新しいコンセプトに基づく解説や原著論文を多数盛り込もう。→賛成、では「横幹」の正しい定義は？あるいは「横幹」らしさとは？→沈黙あるいは議論百出→収斂しない？できない？→いい加減なものを出して恥をかくくらいならむしろ出さない方がいいのでは？

書式体裁：世界に向かって発信するのであれば、原著

論文や解説を英文中心で出したら？→日本語ですらはずりさせにくいものを英語で書けるのか？また横幹と言うコンセプトにのっとった原著論文であるか否かの査読を、誰がするのか（誰が出来るのか？）→やはり会誌を出すのは時期尚早では？

予算：会誌を発行するのにどのくらいの予算を見ればよいのか？→ピンキリではあるが最低でも??万円は？→横幹はそれを永続的に維持できるのか？→止めた方が無難では？

始めは元気で、難問山積、すぐに意気消沈、しかしここで引き下がっては... ということで、「最初から完璧をねらわなくても、出来る範囲内で最善のものを出せばよいのでは？」と頑張り、本号の出版に漕ぎ着けました。つまり、ここしばらくの間は薄めのを年2回（それでも、本誌出版の富士技術出版（株）には、かなり無理なお願いをしています。改めて深謝いたします。）、解説を中心に、日本語でコンセプトをより明確に確立していく、という方針で、ご覧いただいている会誌「横幹」が誕生したわけです。

本誌をご覧になれば、不備な点や改善の余地もいろいろあると思います。建設的意見を会誌編集委員会にいただいて、会誌「横幹」をともに育てていただければ望外の喜びです。

会誌編集委員会 廣田 薫（東京工業大学）

### 【特定非営利活動法人 横断型基幹科学技術研究団体連合（横幹連合）】

#### 2006 年度役員

会 長 吉川弘之（（独）産業技術総合研究所）

副会長 木村英紀（（独）理化学研究所）

理 事 旭岡勝義（（株）社会インフラ研究センター）

石原 直（東京大学）

木村忠正（電気通信大学）

林 利弘（（株）日立製作所）

原 辰次（東京大学）

廣田 薫（東京工業大学）

福永哲夫（早稲田大学）

安岡善文（東京大学）

柳川 堯（久留米大学）

長田 洋（東京工業大学）

監 事 千原國宏（奈良先端科学技術大学院大学）

江尻正員（産業技術コンサルタント）

佐野 昭（慶應義塾大学）

榎木哲夫（京都大学）

清水義雄（信州大学）

鈴木久敏（筑波大学）

出口光一郎（東北大学）

西村千秋（東邦大学）

能勢豊一（大阪工業大学）

藤井眞理子（東京大学）

松永 是（東京農工大学）

矢川元基（東洋大学）

木下源一郎（中央大学）

#### 2006 年度 会誌編集委員会

委員長 原 辰次（東京大学）

委 員 廣田 薫（東京工業大学）

長田 洋（東京工業大学）